

原子力の供給力見通し（震災前過去30年間の平均稼働率により出力を評価）

	北海道	東北	北陸	中国	四国	九州	沖縄
評価供給力:(A) (万kW) (= (B) × (C))	175.5	234.9	119.7	174.6	168.0	393.3	-
設備容量:(B) (万kW)	207.0	389.3	167.4	219.3	202.2	469.9	-
設備利用率:(C)	84.8%	69.8%	71.5%	79.6%	83.1%	83.7%	-
設備 (万kW)	泊1(57.9)	東通(57.0)	志賀1(54.0)	島根2(82.0)	伊方1(56.6)	玄海2(55.9)	-
	泊2(57.9)	女川1(52.4)	志賀2(75.8)	島根3(137.3) <建設中>	伊方2(56.6)	玄海3(118.0)	
	泊3(91.2)	女川2(82.5)	原電敦賀2(37.6)		伊方3(89.0)	玄海4(118.0)	
		女川3(42.8)				川内1(89.0)	
		柏崎刈羽1(52.6)				川内2(89.0)	
		東海第二(21.1)					
		大間(28.1)<建設中>					
	福島第二3(26.4)						
	福島第二4(26.4)						
昼間最低負荷 (万kW)	302.5 (5月11日12時)	765.3 (5月11日12時)	250 (5月18日13時)	559 (5月11日13時)	247.4 (5月18日13時)	794 (5月11日12時)	67.8 (4月6日14時)
昼間最低負荷に 占める割合	58.0%	30.7%	47.9%	31.2%	67.9%	49.5%	-

※2030年時点で運転40年を超える原発は黄色、廃炉が決定している原発は×印を表示。

出典：総合資源エネルギー調査会 第7回 系統ワーキンググループ資料より倉林明子事務所作成

2016年5月24日 参議院経済産業委員会提出資料① 日本共産党 倉林明子